

小児慢性特定疾患治療研究事業における登録データの 精度向上に関する研究

- 平成 26 年度の小児慢性特定疾患治療研究事業の疾病登録状況〔速報値〕 -

国立成育医療研究センター小児慢性特定疾病情報室

研究要旨

平成 26 年度小児慢性特定疾患治療研究事業(以下、小慢事業)について、厚生労働省に平成 29 年 4 月までに電子データによる事業報告があった医療意見書は 82,340 人分(成長ホルモン治療用意見書提出分を含むと延べ 94,814 人分)であり、本研究ではその内容の集計を行った。

全国 110 か所の実施主体のうち 105 か所から事業報告があった。

平成 26 年度小慢事業での登録数は、多い順に、1) 成長ホルモン分泌不全性低身長症 10,575 人(12.8%)、2) クレチン症 4,589 人(5.6%)、3) 1 型糖尿病(若年型糖尿病)4,425 人(5.4%)、4) 急性リンパ性白血病 2,928 人(3.6%)、5) 甲状腺機能亢進症(バセドウ(Basedow)病)2,831 人(3.4%)、6) ウェスト(West)症候群(点頭てんかん)2,551 人(3.1%)、7) ネフローゼ症候群 2,277 人(2.8%)、8) ファロー四徴症 1,991 人(2.4%)、9) 胆道閉鎖症(先天性胆道閉鎖症)1,806 人(2.2%)、10) 若年性関節リウマチ 1,755 人(2.1%)であった。

研究実施者:

掛江 直子 (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室長)
盛一 享徳 (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室研究員)
柏崎 ゆたか (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室研究フェロー)
森本 康子 (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室研究フェロー)
森 淳之介 (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室データマネージャ)
白井 夕映 (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室研究補助員)
河村 淳子 (国立成育医療研究センター
小児慢性特定疾病情報室研究補助員)

森 臨太郎 (国立成育医療研究センター
政策科学研究部長)

A. 研究目的

小児慢性特定疾患治療研究事業(以下、小慢事業)は、平成 10 年度以降、小慢事業の申請の際に医療意見書を提出させ、診断基準を明確にして小児慢性特定疾患(以下、小慢疾患)対象者を認定する制度に統一され、運営されてきた。平成 17 年度以降は児童福祉法に基づき法制化された公的制度となっている。

小慢事業の全国的な登録状況について、平成 26 年度の全国的登録状況(速報値)をまとめた。

本研究では、小慢疾患の疫学的解析を行い、国や地方自治体、そして小慢疾患を診療、研究する医療関係者、さらに患児およびその家族に、そ

の情報を提供すること、そして法制化後の小慢事業の状況を解析し、より良い小慢事業の今後のあり方を検討することを目的とした。

B. 研究方法

小慢事業に関して、実施主体である都道府県・指定都市・中核市から厚生労働省に、平成 29 年 4 月までに、所定の小慢データ登録管理ソフト (ver.5.0 および 5.1) により事業報告があった医療意見書の内容を集計した。

集計方法は次の通りである。本集計に用いるデータは、疾患名、性別、新規継続別の全国的な統計値のみとし、個人が同定されることのないよう、全体の集計として示した。治療研究事業として研究資料として利用することへの同意を患児の保護者から得ている場合は、受給者番号ならびに生年月日情報が付いていることから、これらを用いて重複データ等のクリーニング作業を行った。個人情報管理の観点から、当該データは成育医療研究センター研究所内から持ち出さずに集計・管理した。(なお、患児の氏名ならびに住所は、実施主体から厚生労働省に報告される段階で予め登録プログラムによって自動削除されている。)

平成 26 年度は、前年度までの 109 実施主体に新たに中核市となった枚方市を加えた全国 110 か所の実施主体のうち 105 か所(岩手県、千葉県、石川県、長野県、川越市を除く)から事業報告があり、82,340 人(成長ホルモン治療用意見書提出症例 12,474 人を含むと延べ 94,814 件)分のデータを集計した。

旧医療意見書のための集計の為、例年と比べて全国的に登録件数は少なくなっている。平成 26 年度に関しては、平成 27 年 1 月 1 日以降の制度改正後医療意見書を含めて最終的な検討が必要である。

本研究では、平成 26 年度の全般的な登録状況、すなわち疾患群別に、告示疾患ごとの登録者数やその内訳等を示し、平成 29 年 4 月末日時点の速報値として報告した。

C. 研究結果と考察

平成 26 年度については、平成 29 年 4 月末日までに、110 実施主体のうち、岩手県、千葉県、石川県、長野県、川越市の 5 実施主体を除く 105 実施主体から、医療意見書の電子データの提出があり、82,340 人(成長ホルモン治療用意見書提出症例 12,474 人を含むとのべ 94,814 件)のデータを集計した。なお、本集計は県単独事業での登録も含めた結果である。

これらの結果は、情報公開の原則に基づき、個人情報保護に十分配慮した上で、当該報告書に加え、小児慢性特定疾病情報センター(ポータルサイト; <http://www.shouman.jp>)に公開する予定である。

1. 悪性新生物

疾患群としての「悪性新生物」に関する集計結果を表 1 に示す。

平成 26 年度は、悪性新生物疾患として登録されたのは 11,012 人、うち新規症例は 1,512 人、継続症例は 9,236 人、転入症例が 57 人、再開症例が 29 人、無記入が 178 件であった。性別は、男児 6,012 人、女児 5,000 人であった。

登録人数は多い順に、1) 急性リンパ性白血病 2,928 人(26.6%)、2) 急性骨髄性白血病 903 人(8.2%)、3) 神経芽腫(神経芽細胞腫) 569 人(5.2%)、4) 悪性リンパ腫 555 人(5.0%)、5) 網膜芽腫(網膜芽細胞腫) 388 人(3.5%)、6) 神経膠腫(グリオーマ) 384 人(3.5%)、7) ランゲルハンス細胞組織球症 356 人(3.2%)、8) 骨肉腫 338 人(3.1%)、9) 髄芽腫 313 人(2.8%)、10) 頭蓋咽頭腫 272 人(2.5%)であった。

2. 慢性腎疾患

疾患群としての「慢性腎疾患」に関する集計結果を表 2 に示す。

平成 26 年度は、慢性腎疾患として登録されたのは 6,931 人、うち新規症例は 939 人、継続症例は 5,813 人、転入症例が 31 人、再開症例が 32 人、無記入が 116 件であった。性別は、男児 4,135 人、

女児 2,796 人であった。

登録人数は多い順に、1) ネフローゼ症候群 2,277 人(32.9%)、2) IgA 腎症 1,476 人(21.3%)、3) 腎の無発生、低形成、無形成又は異形成 588 人(8.5%)、4) 慢性糸球体腎炎 461 人(6.7%)、5) 巣状糸球体硬化症 390 人(5.6%)、6) 紫斑病性腎炎 300 人(4.3%)、7) 慢性膜性増殖性糸球体腎炎 220 人(3.2%)、8) 水腎症 185 人(2.7%)、9) 遺伝性腎炎 178 人(2.6%)、10) 慢性膜性糸球体腎炎 157 人(2.3%)であった。

3. 慢性呼吸器疾患

疾患群としての「慢性呼吸器疾患」に関する集計結果を表 3 に示す。

平成 26 年度は、慢性呼吸器疾患として登録されたのは 2,763 人、うち新規症例は 526 人、継続症例は 2,161 人、転入症例が 15 人、再開症例が 4 人、無記入が 57 件であった。性別は、男児 1,505 人、女児 1,258 人であった。

登録人数は多い順に、1) 慢性肺疾患 1,142 人(41.3%)、2) 気管狭窄 874 人(31.6%)、3) 気管支喘息 433 人(15.7%)、4) 先天性中枢性低換気症候群 174 人(6.3%)、5) 本態性肺へモジデローシス 53 人(1.9%)であった。

4. 慢性心疾患

疾患群としての「慢性心疾患」に関する集計結果を表 4 に示す。

平成 26 年度は、慢性心疾患として登録されたのは 14,547 人、うち新規症例は 1,896 人、継続症例は 12,268 人、転入症例が 70 人、再開症例が 76 人、無記入が 237 件であった。性別は、男児 7,948 人、女児 6,598 人、無記入 1 件であった。

登録人数が多い順に、1) ファロー四徴症 1,991 人(13.7%)、2) 心室中隔欠損症 1,714 人(11.8%)、3) 両大血管右室起始症 1,008 人(6.9%)、4) 単心室症 923 人(6.3%)、5) 肺動脈閉鎖症 848 人(5.8%)、6) 完全大血管転位症 796 人(5.5%)、7) 心内膜床欠損症(一次口欠損症、共通房室弁口症) 765 人(5.3%)、8) 特発性肥大型心筋症 449

人(3.1%)、9) 三尖弁閉鎖症 439 人(3.0%)、10) 大動脈縮窄症 402 人(2.8%)であった。

5. 内分泌疾患

疾患群としての「内分泌疾患」に関する集計結果を表 5 に示す。

平成 26 年度は、内分泌疾患として登録されたのは 25,065 人、うち新規症例は 3,175 人、継続症例は 21,425 人、転入症例が 153 人、再開症例が 63 人、無記入が 249 件であった。性別は、男児 11,714 人、女児 13,350 人、無記入 1 件であった。

登録人数が多い順に、1) 成長ホルモン分泌不全性低身長症 10,575 人(42.2%)、2) クレチン症 4,589 人(18.3%)、3) 甲状腺機能亢進症(バセドウ病) 2,831 人(11.3%)、4) ターナー症候群 1,187 人(4.7%)、5) 性早熟症 1,104 人(4.4%)であった。

6. 膠原病

疾患群としての「膠原病」に関する集計結果を表 6 に示す。

平成 26 年度は、膠原病として登録されたのは 2,729 人、うち新規症例は 415 人、継続症例は 2,243 人、転入症例が 15 人、再開症例が 11 人、無記入が 45 件であった。性別は、男児 1,179 人、女児 1,550 人であった。

登録人数が多い順に、1) 若年性関節リウマチ 1,755 人(64.3%)、2) 冠動脈病変(川崎病性冠動脈病変)(冠動脈瘤、冠動脈拡張症、冠動脈狭窄症) 773 人(28.3%)、3) シェーグレン症候群 116 人(4.3%)であった。

7. 糖尿病

疾患群としての「糖尿病」に関する集計結果を表 7 に示す。

平成 26 年度は、糖尿病として登録されたのは 5,324 人、うち新規症例は 654 人、継続症例は 4,535 人、転入症例が 30 人、再開症例が 14 人、無記入が 91 件であった。性別は、男児 2,341 人、女児 2,983 人であった。

登録人数が多い順に、1) 1 型糖尿病(若年型糖

尿病)4,425人(83.1%)、2)2型糖尿病(成人型糖尿病)783人(14.7%)、3)その他の糖尿病(腎性糖尿を除く)116人(2.2%)であった。

8. 先天性代謝異常

疾患群としての「先天性代謝異常」に関する集計結果を表8に示す。

平成26年度は、先天性代謝異常として登録されたのは3,755人、うち新規症例は309人、継続症例は3,369人、転入症例が17人、再開症例が13人、無記入が47件であった。性別は、男児2,092人、女児1,663人であった。

登録人数が多い順に、1)軟骨無形成症(軟骨異栄養症)880人(23.4%)、2)アミノ酸代謝異常症(告示3:高オルニチン血症-高アンモニア血症-ホモシトルリン尿症症候群4人、告示31:シスチン尿症51人、告示32:腎性アミノ酸尿症3人、告示33:ハルトナップ病1人、告示50で登録されたアミノ酸代謝異常症503人の合計)562人(15.0%)、3)骨形成不全症451人(12.0%)、4)ライソゾーム病(告示16:ウォールマン病3人、告示30:シスチン蓄積症(リグナック症候群)6人、告示50で登録されたライソゾーム病298人の合計)307人(8.2%)、5)糖質代謝異常症(告示35:ショ糖・イソ麦芽糖吸収不全症3人、告示37:乳糖吸収不全症42人、告示38:ぶどう糖・ガラクトース吸収不全症6人、告示50で登録された糖質代謝異常症202人の合計)253人(6.7%)、6)銅代謝異常症(告示41:ウィルソン病(セルロプラスミン欠乏症)220人、告示42:メンケス病(kinky-hair症候群)15人の合計)235人(6.3%)、7)脂質代謝異常症(告示14:アポ蛋白C-欠損症2人、告示17:家族性高コレステロール血症146人、告示20:高低比重リポ蛋白(LDL)血症4人、告示21:高トリグリセライド血症17人、告示50で登録された脂質代謝異常症5人の合計)174人(4.6%)、8)有機酸代謝異常症(告示43:グルタル酸尿症(型、型)28人、告示45:メチルマロン酸血症66人、告示50で登録された有機酸代謝異常症81人の合計)175人(4.7%)、9)遺伝性ビタミンD抵抗性

くる病(家族性低リン酸血症)159人(4.2%)、10)ペルオキシソーム病67人(1.8%)であった。

9. 血友病等血液・免疫疾患

疾患群としての「血友病等血液・免疫疾患」に関する集計結果を表9に示す。

平成26年度は、血友病等血液・免疫疾患として登録されたのは3,242人、うち新規症例は382人、継続症例は2,788人、転入症例が22人、再開症例が6人、無記入が44件であった。性別は、男児2,399人、女児843人であった。

登録人数が多い順に、1)第因子欠乏症(血友病A)1,123人(34.6%)、2)免疫学的血小板減少症463人(14.3%)、3)第因子欠乏症(血友病B)247人(7.6%)、4)フォン・ヴィレブランド病235人(7.2%)、5)低ガンマグロブリン血症130人(4.0%)、6)遺伝性球状赤血球症117人(3.6%)、7)遺伝性好中球減少症(家族性慢性好中球減少症)81人(2.5%)、8)異常ヘモグロビン(血色素)症60人(1.9%)、9)慢性肉芽腫症59人(1.8%)、10)巨大血管腫(カサバハ・メリット症候群)56人(1.7%)であった。

10. 神経・筋疾患

疾患群としての「神経・筋疾患」に関する集計結果を表10に示す。

平成26年度は、神経・筋疾患として登録されたのは4,562人、うち新規症例は456人、継続症例は3,976人、転入症例が32人、再開症例が19人、無記入が79件であった。性別は、男児2,448人、女児2,114人であった。

登録人数が多い順に、1)ウェスト症候群(点頭てんかん)2,551人(55.9%)、2)レノックス・ガストウ症候群484人(10.6%)、3)結節性硬化症431人(9.4%)、4)福山型先天性筋ジストロフィー(先天性遺伝性筋ジストロフィー)259人(5.7%)、5)重症乳児ミオクロニーてんかん245人(5.4%)、6)ミトコンドリア脳筋症(ミトコンドリア・ミオパチー)193人(4.2%)、7)レット症候群139人(3.0%)、8)先天性ミオパチー124人(2.7%)であった。

11. 慢性消化器疾患

疾患群としての「慢性消化器疾患」に関する集計結果を表 11 に示す。

平成 26 年度は、慢性消化器疾患として登録されたのは 2,410 人、うち新規症例は 193 人、継続症例は 2,172 人、転入症例が 12 人、再開症例が 10 人、無記入が 23 件であった。性別は、男児 918 人、女児 1,492 人であった。

登録人数が多い順に、1) 胆道閉鎖症(先天性胆道閉鎖症)1,806 人(74.9%)、2) 先天性胆道拡張症(先天性総胆管拡張症)319 人(13.2%)、3) アラジール症候群(動脈肝異形成)73 人(3.0%)、4) 門脈圧亢進症 46 人(1.9%)、5) 肝硬変 43 人(1.8%)であった。

12. 成長ホルモン治療

成長ホルモン治療に関する集計結果を、初回申請症例については表 12-1 に、継続申請症例については表 12-2 に示す。

平成 26 年度は、成長ホルモン治療として登録されたのは、初回・継続合わせて 12,474 人であり、うち初回申請症例は 1,623 人で、性別は、男児 922 人、女児 701 人であった。継続申請症例は 10,851 人であり、性別は男児 6,586 人、女児 4,265 人であった。

登録人数が多い順に、初回申請症例では、1) 成長ホルモン分泌不全性低身長 1,337 人(82.4%)、2) ターナー症候群 122 人(7.5%)、3) 軟骨無形成症形成 71 人(4.4%)であった。

また、継続申請症例では、登録人数が多い順に、1) 成長ホルモン分泌不全性低身長 9,038 人(83.3%)、2) ターナー症候群 705 人(6.5%)、3) 軟骨無形成症 452 人(4.2%)であった。

D. 結論

平成 26 年度小慢事業全体での登録人数は、多い順に、1) 成長ホルモン分泌不全性低身長症 10,575 人(12.8%)、2) クレチン症 4,589 人(5.6%)、

3) 1 型糖尿病(若年型糖尿病)4,425 人(5.4%)、4) 急性リンパ性白血病 2,928 人(3.6%)、5) 甲状腺機能亢進症(バセドウ(Basedow)病)2,831 人(3.4%)、6) ウェスト(West)症候群(点頭てんかん)2,551 人(3.1%)、7) ネフローゼ症候群 2,277 人(2.8%)、8) ファロー四徴症 1,991 人(2.4%)、9) 胆道閉鎖症(先天性胆道閉鎖症)1,806 人(2.2%)、10) 若年性関節リウマチ 1,755 人(2.1%)であった。

本研究は、速報値としての集計に留まるが、今後は詳細なデータの解析を進めていく予定である。

E. 参考文献

小児慢性特定疾患登録管理事務局:平成 25 年度の小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況(速報値).平成 26 年度 厚生労働科学研究「今後の小児慢性特定疾患治療研究事業のあり方に関する研究」報告書; 11 ~ 54, 2015

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許情報/実用新案登録/その他

なし/なし/なし

(謝辞)

多忙な中、データクリーニングに対する問い合わせに御回答頂いた各実施主体の担当者の皆様に心から感謝申し上げます。

表 1. 平成 26 年度 悪性新生物 (Malignant Neoplasms)

(合計 11,012 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	1,512
	転入	57
	継続	9236
	再開	29
	無記入	178
性別	男	6012
	女	5000
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	悪性カルチノイド	3	悪性カルチノイド	3
2	悪性黒色腫	19	悪性黒色腫	19
3	悪性骨巨細胞腫	1	悪性骨巨細胞腫	1
4	悪性細網症	5	悪性細網症	5
5	悪性マクログロブリン血症	0	悪性マクログロブリン血症	0
6	悪性リンパ腫	555	びまん性大細胞性 B 細胞リンパ腫	300
			る胞性リンパ腫	4
			悪性リンパ腫、B 細胞性	80
			悪性リンパ腫、T 細胞性	72
			末梢性 T 細胞リンパ腫	9
			未分化大細胞リンパ腫	47
			前駆 T 細胞性リンパ芽球性リンパ腫(悪性リンパ腫、リンパ芽球性)	32
			悪性リンパ腫 (詳細不明)	11
7	アスキン腫瘍	0	アスキン腫瘍	0
8	ウィルムス腫瘍	193	ウィルムス腫瘍 (腎芽腫)	193
9	下垂体腺腫	36	下垂体腺腫	36
10	家族性赤血球貪食性細網症	2	家族性赤血球貪食性細網症	2
11	褐色細胞腫	14	褐色細胞腫 (悪性を含む)	14
12	癌性腹膜炎	1	癌性腹膜炎	1
13	奇形腫 (頭蓋内及び脊柱管内に限る)	74	奇形腫	74
14	菌状息肉腫	0	菌状息肉腫	0

15	形質細胞腫	0	形質細胞腫	0
16	血球貪食リンパ組織球症	146	血球貪食リンパ組織球症	146
17	好酸球性肉芽腫	1	好酸球性肉芽腫	1
18	骨髄腫	6	多発性骨髄腫	6
19	松果体腫	73	松果体腫	64
			松果体芽腫	9
20	絨毛上皮腫	198	絨毛上皮腫（絨毛癌）	198
21	神経膠腫	384	神経膠腫（グリオーマ）	384
22	神経鞘腫（頭蓋内及び脊柱管内に限る）	24	神経鞘腫	20
			悪性神経鞘腫	4
23	神経上皮腫	13	神経上皮腫	13
24	神経星細胞腫（頭蓋内及び脊柱管内に限る）	48	神経星細胞腫（神経節膠腫）	48
25	神経節細胞腫（頭蓋内及び脊柱管内に限る）	11	神経節細胞腫	11
26	腎明細胞肉腫（腫瘍）	20	腎明細胞肉腫	20
27	臍芽腫	11	臍芽腫	11
28	髄上皮腫	2	髄上皮腫	2
29	髄膜腫	28	髄膜腫（悪性を含む）	28
30	精上皮腫	4	精上皮腫（セミノーマ）	4
31	脊索腫	12	脊索腫	12
32	セザリー-(Sezary)症候群	0	セザリー-症候群	0
33	赤血病	0	赤血病	0
34	赤白血病	0	赤白血病（M6）	0
35	先天性腎間葉芽腫（先天性中胚葉性腎腫）	7	先天性腎間葉芽腫	7
36	頭蓋咽頭腫	272	頭蓋咽頭腫	272
37	脳室上衣腫	169	上衣腫	169
38	肺芽腫	13	肺芽腫	13
39	白血病	2,928	急性リンパ芽球性白血病（B細胞性、FAB分類：L1又はL2）	134
			急性リンパ芽球性白血病（T細胞性、FAB分類：L1又はL2）	21
			フィラデルフィア染色体（Ph1）陽性急性リンパ芽球性白血病	22
			急性リンパ芽球性白血病（詳細不明）	54

			急性リンパ性白血病（B細胞性、FAB分類：L1又はL2）	875
			急性リンパ性白血病（T細胞性、FAB分類：L1又はL2）	177
			成熟B細胞リンパ芽球性白血病	5
			パーキット細胞性白血病（B細胞性、FAB分類：L3）	18
			乳児白血病	4
			急性リンパ性白血病（詳細不明）	1,618
		903	急性骨髄性白血病、微小分化型(M0)	10
			急性骨髄性白血病、未成熟型(M1)	6
			急性骨髄性白血病、成熟型(M2)	25
			急性前骨髄球性白血病(M3)	34
			急性骨髄単球性白血病(M4)	16
			急性単球性白血病(M5)	10
			急性骨髄性白血病(M6)	3
			急性巨核芽球性白血病(M7)	55
			治療関連急性骨髄性白血病（二次性白血病を含む）	0
			若年性骨髄単球性白血病	63
			急性骨髄性白血病（詳細不明）	681
		49	急性白血病（詳細不明）	49
		142	慢性骨髄性白血病	142
		1	慢性骨髄単球性白血病	1
		6	白血病（詳細不明）	6
40	白血病性細網内皮症（Hairy-Cell Leukemia）	0	白血病性細網内皮症	0
41	パーキットリンパ（Burkitt）腫	16	パーキットリンパ腫	16
42	ハンド・シューラー・クリスチャン（Hand-Schuller-Christian）病	0	ハンド・シューラー・クリスチャン病	0
43	非白血病性細網内皮症（組織球性髄様細網症）	9	非白血病性細網内皮症	9
44	非ホジキン（non-Hodgkin）リンパ腫	29	非ホジキンリンパ腫	29
45	ホジキン（Hodgkin）病	107	ホジキンリンパ腫（ホジキン病）	95
			ホジキンリンパ腫、高リンパ球型	0
			ホジキンリンパ腫、混合細胞型	2

			ホジキンリンパ腫、リンパ球減少型	0
			ホジキンリンパ腫、結節性リンパ球優勢型	10
46	末梢性神経外胚葉腫瘍	35	末梢性神経外胚葉腫瘍	35
47	未分化胚細胞腫（卵巣精上皮種）	98	未分化胚腫	98
48	脈絡叢乳頭腫	46	脈絡叢乳頭腫	46
49	ユーイング（Ewing）肉腫	152	ユーイング肉腫	152
50	ラブドイド腫瘍（肉腫）（悪性ラブドイド腫瘍）	22	悪性ラブドイド腫瘍	22
51	ランゲルハンス（細胞）組織球症（HistiocytosisX）	356	ランゲルハンス細胞組織球症	356
			組織球症（詳細不明）	0
52	緑色腫	0	緑色腫	0
53	レットラー・ジーベ（Letterer-Siwe）病	0	レットラー・ジーベ病	0
54	H鎖病（鎖病、鎖病、鎖病、μ鎖病）	0	H鎖病（鎖病、鎖病、鎖病、μ鎖病）	0
55	1 から 54 までに掲げるもののほか、悪性腫瘍である旨を明示するすべての疾病名、芽腫（肉芽腫を除く。）又は芽細胞腫である旨を明示するすべての疾病名、癌である旨を明示するすべての疾病名、肉腫である旨を明示するすべての疾病名その他の組織学的に悪性を呈する細胞の増殖（癌腫又は肉腫）を本態とする疾病名。ただし、頭蓋内又は脊柱管内の新生物にあっては組織型を問わない。	173	骨髄異形成症候群（骨髄異形成又は骨髄増殖性疾患を含む）	173
		1	移植後リンパ増殖性疾患	1
		569	神経芽腫（神経芽細胞腫）	569
		1	嗅神経芽腫	1
		388	網膜芽腫（網膜芽細胞腫）	388
		9	腎細胞癌	9
		246	肝芽腫	246
		11	肝細胞癌	11
		338	骨肉腫	338
		14	軟骨肉腫	14
		9	横紋筋肉腫、胎芽型	9
		18	横紋筋肉腫、胞巣型	18
		0	横紋筋肉腫、混合型	0
		1	横紋筋肉腫、多形型	1
		215	横紋筋肉腫（詳細不明）	215
		19	未分化肉腫	19
0	紡錘形細胞肉腫	0		
10	類上皮肉腫	10		
3	線維形成性小円形細胞腫瘍	3		

20	線維肉腫	20
1	線維粘液肉腫	1
0	筋膜線維肉腫	0
0	線維腫症	0
4	筋線維腫症	4
0	悪性線維性組織球腫	0
1	皮膚線維肉腫（隆起性を含む）	1
1	粘液肉腫	1
29	滑膜肉腫	29
4	明細胞肉腫（腎以外の腱靱帯由来）	4
8	胞巣状軟部肉腫	8
3	平滑筋肉腫	3
2	筋肉腫	2
13	脂肪肉腫	13
0	脂肪芽腫症	0
57	胚腫	57
29	悪性奇形腫	29
7	胎児性癌	7
0	卵黄のう腫	0
27	混合型胚細胞腫瘍	27
32	頭蓋内胚細胞腫瘍	32
0	胚細胞腫瘍（詳細不明）	0
17	副腎皮質癌	17
2	多発性内分泌腫瘍	2
2	神経内分泌癌	2
0	悪性胸腺腫	0
1	悪性リンパ管腫	1
24	リンパ管腫症	24
156	星細胞腫（アストロサイトーマ）	156
0	多形性黄色星細胞腫	0
38	膠芽腫	38
0	上衣下腫	0
0	乏突起膠腫	0
313	髄芽腫	313

3	中枢性神経細胞腫	3
1	乳頭状髄膜腫	1
0	小脳腫瘍	0
7	視床下部腫瘍	7
137	脳腫瘍（詳細不明）	137
0	脊髄腫瘍	0
0	クモ膜嚢胞	0
46	乳頭状癌	46
6	扁平上皮癌	6
3	基底細胞癌	3
8	腺癌（上皮内腺癌を含む）	8
0	鱗状細胞癌	0
4	乳頭状腺癌	4
7	粘液類上皮癌	7
11	充実性偽乳頭腺癌	11
0	粘液のう胞腺癌	0
0	粘液性癌（コロイド癌）	0
0	乳管内癌	0
0	面皰癌（コメド癌）	0
0	のう胞内癌	0
9	髄様癌	9
0	腺房細胞癌	0
0	悪性顆粒膜細胞腫瘍	0
0	悪性アンドロblastoma	0
1	悪性セトリ細胞腫瘍	1
1	悪性傍神経節腫	1
22	巨大色素性母斑	22
2	外胚葉性間葉腫	2
0	胃腸間質腫瘍（GIST）	0
1	中胚葉性混合腫瘍	1
0	悪性のう胞腎腫	0
8	胸膜肺芽腫	8
1	悪性中皮腫	1
6	血管肉腫	6

5	血管内皮腫（悪性を含む）	5
1	悪性血管外皮腫	1
12	血管芽腫	12
1	悪性軟部巨細胞腫瘍	1
2	長管骨アダマンチノーマ	2
1	悪性エナメル上皮腫	1
0	黒色細胞性神経外胚葉腫瘍	0
3	海綿芽腫	3
2	髄筋芽腫	2
0	原始神経外胚葉腫瘍（PNET）	0
29	神経節（神経）芽腫	29
23	異型奇形腫瘍/ラブドイド腫瘍	23
6	悪性末梢神経鞘性腫瘍	6
0	悪性顆粒細胞腫	0
2	腹腔内線維腫症	2
6	アグレッシブ線維腫症	6
5	腺嚢胞癌	5
7	退形成性星細胞腫	7
54	退形成性上衣腫	54
5	退形成性乏突起神経膠腫	5
4	胎児肉腫	4
0	類基底細胞癌	0
127	毛様細胞性星細胞腫	127
2	家族性腺腫性ポリポーシス	2
2	悪性顆粒膜細胞腫	2
1	悪性線維組織球腫	1
0	悪性混合腫瘍（唾液腺由来）	0
0	悪性ライディッヒ細胞腫瘍	0
1	線維形成性結節性髄芽腫	1
1	線維形成性小円型腫瘍	1
1	原線維性星細胞腫	1
1	胃腸間質肉腫	1
4	色素性神経外胚葉腫瘍	4
0	粘液嚢胞腺癌	0

0	多形細胞癌	0
2	肺癌	2
0	リンパ上皮癌	0
0	移行上皮癌	0
0	基底細胞腺癌	0
0	巨細胞癌	0
0	後縦隔腫瘍	0
23	甲状腺癌	23
0	硬膜外腫瘍	0
2	脂肪芽細胞症	2
0	視神経膠腫	0
0	上衣下膠腫	0
3	上咽頭癌	3
5	上皮内癌	5
2	神経節神経腫	2
9	神経線維肉腫	9
0	線維芽細胞骨肉腫	0
2	腺房癌	2
1	組織球性腫瘍	1
2	多形黄色星細胞腫	2
8	未分化神経外胚葉性腫瘍（中枢性のもの）	8
0	未分化神経外胚葉性腫瘍（末梢性のもの）	0
1	軟骨芽骨肉腫	1
8	乳児性線維肉腫	8
0	粘液癌	0
1	粘液脂肪肉腫	1
2	粘液腫性軟骨肉腫	2
5	嚢胞内癌	5
0	肺癌	0
0	皮膚付属器癌	0
15	乏神経突起膠腫	15
3	紡錘形肉腫	3
3	未分化癌	3

		0	面皸細胞癌(コメド癌)	0
		88	卵黄嚢腫	88
		0	嗅覚神経芽腫	0
		0	漿液性嚢胞腺癌	0
		6	濾胞状腺癌	6
		3	組織球肉腫	3
		1	転移性腫瘍	1
		1	性索間質性腫瘍	1
		2	胆管癌	2
		23	その他の肉腫(詳細不明)	23
		139	その他の癌/腫瘍(詳細不明)	139
	不明	0	不明	0
合計				11,012

表 2. 平成 26 年度 慢性腎疾患 (Chronic Renal Diseases)

(合計 6,931 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	939
	転入	31
	継続	5,813
	再開	32
	無記入	116
性別	男	4,135
	女	2,796
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	遺伝性腎炎	178	遺伝性腎炎 (アルポート症候群を含む)	178
2	急速進行性糸球体腎炎の病変を示す慢性腎炎	63	急速進行性糸球体腎炎	63
3	紫斑病性腎炎	300	紫斑病性腎炎	300
4	巣状糸球体硬化症	390	巣状糸球体硬化症	383
			巣状メサンギウム増殖性腎炎	7
5	ネフローゼ症候群	2,277	特発性ネフローゼ症候群	32
			ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	452
			先天性ネフローゼ症候群	48
			びまん性メサンギウム硬化症	1
			ネフローゼ症候群 (詳細不明)	1,744
6	微小変化型ネフローゼ症候群	147	微小変化型ネフローゼ症候群	147
7	慢性糸球体腎炎	461	IgM 腎症	9
			慢性糸球体腎炎	0
			メサンギウム増殖性腎炎	452
			硬化性糸球体腎炎	0
8	慢性増殖性糸球体腎炎	0	慢性増殖性糸球体腎炎	0
9	慢性膜性糸球体腎炎	157	膜性腎症	157
10	慢性膜性増殖性糸球体腎炎	220	膜性増殖性糸球体腎炎 (MPGN)	220
11	IgA 腎症	1,476	IgA 腎症 (ベルジェ病)	1,476
12	アミロイド腎	0	アミロイド腎 (症)	0

13	萎縮腎	41	萎縮腎	41
14	家族性若年性ネフロン癆	32	家族性若年性ネフロン癆	32
15	ギテルマン(Gitelman)症候群	28	ギテルマン症候群	28
16	巨大水尿管症	6	巨大水尿管症	6
17	グッドパスチャー(Goodpasture)症候群	0	グッドパスチャー症候群	0
18	腎血管性高血圧	61	腎血管性高血圧	61
19	腎静脈血栓症	2	腎静脈血栓(症)	2
20	腎動静脈瘻	0	腎動静脈瘻	0
21	腎動脈狭窄症	2	腎動脈狭窄(症)	2
22	腎尿細管性アシドーシス	56	尿細管性アシドーシス	56
23	腎嚢胞	4	腎嚢胞	4
24	腎の奇形、位置異常又は腫瘍による腎機能障害	23	寡巨大糸球体症(オリゴメガネフロニア)	4
			腎の奇形による腎機能障害	16
			腎の腫瘍による腎機能障害	2
			爪膝蓋骨形成不全症候群(Nail-Patella症候群)	1
25	腎の無発生、低形成、無形成又は異形成	588	移植腎	11
			慢性腎不全	325
			多嚢胞性異形成腎	8
			腎低形成・無形成	189
			腎異形成	55
26	腎又は腎周囲膿瘍	0	腎周囲膿瘍	0
27	腎又は尿路結石	3	腎結石(症)	3
28	水腎症	185	水腎症	185
29	多発性嚢胞腎	68	多発性嚢胞腎	68
30	尿路の奇形、位置異常又は腫瘍による腎機能障害	29	尿路奇形による腎機能障害	29
			尿路腫瘍による腎機能障害	0
31	尿路閉塞性腎機能障害	26	水尿管症	5
			閉塞性尿路疾患	1
			閉塞性腎障害	20
32	バーター(Bartter)症候群	46	バーター症候群	46
33	慢性間質性腎炎	30	慢性間質性腎炎	30

34	慢性腎盂腎炎	32	慢性腎盂腎炎	32
			合計	6,931

表 3. 平成 26 年度 慢性呼吸器疾患 (Chronic Respiratory Diseases)

(合計 2,763 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	526
	転入	15
	継続	2,161
	再開	4
	無記入	57
性別	男	1,505
	女	1,258
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	アレルギー性気管支炎			
2	アレルギー性細気管支炎			
3	気管狭窄	874	気管狭窄	874
4	気管支拡張症	52	気管支拡張症	52
5	気管支喘息	433	気管支喘息	433
6	先天性中枢性低換気症候群	174	先天性中枢性低換気症候群	174
7	先天性肺胞蛋白症	4	先天性肺胞蛋白症	4
8	線毛機能不全症候群(カータジェナー(Kartagener)症候群)	24	カータジェナー症候群/カルタゲナ症候群	4
			線毛機能不全症候群	20
9	嚢胞性線維症	7	嚢胞性線維症	7
10	本態性(特発性)肺ヘモジデロシス(血鉄症)	53	本態性(特発性)肺ヘモジデロシス(血鉄症)	53
11	慢性肺疾患	1,142	慢性肺疾患	1,142
	不明	0	不明	0
合計				2,763

告示 1「アレルギー性気管支炎」ならびに告示 2「アレルギー性細気管支炎」は、告示 5「気管支喘息」にて集計

表 4. 平成 26 年度 慢性心疾患 (Chronic Heart Diseases)
(合計 14,547 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	1,896
	転入	70
	継続	12,268
	再開	76
	無記入	237
性別	男	7,948
	女	6,598
	無記入	1

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	冠動静脈瘻	36	冠動静脈瘻	17
			冠動脈瘻	19
2	冠動脈異常起始症	24	冠動脈異常起始症	14
			冠動脈病変 (異常)	5
			右冠動脈肺動脈起始 (症)	0
			両冠動脈肺動脈起始症	5
3	冠動脈拡張症	1	冠動脈拡張症	1
4	冠動脈狭窄症	5	冠動脈狭窄症	5
5	冠動脈瘤	30	冠動脈瘤	30
6	左冠動脈肺動脈起始症 (ブランド・ホワイト・ガーランド(Bland-White-Garland)症候群)	35	左冠動脈肺動脈起始症	35
7	狭心症	6	狭心症	6
8	ウォルフ・パーキンソン・ホワイト(Wolff-Parkinson-White , WPW) 症候群	40	ウォルフ・パーキンソン・ホワイト症候群 (WPW 症候群)	40
			早期興奮症候群	0
9	期外収縮	15	期外収縮	0
			心室性期外収縮	15
10	脚ブロック	1	左脚ブロック	1
11	心房又は心室の細動	21	アダムス・ストークス発作	1
			心房細動	6
			心室粗・細動	14

12	心房又は心室の粗動	2	心房粗動	2
13	洞不全症候群	40	洞不全症候群	40
14	洞房ブロック	1	洞房ブロック	1
15	非発作性頻拍(心室、上室性)	9	非発作性頻拍(心室、上室性)	3
			非発作性心室性頻拍	1
			非発作性上室性頻拍	5
16	房室解離	1	房室解離	1
17	房室ブロック	158	完全房室ブロック	146
			高度房室ブロック	8
			モビッツ 型ブロック	4
18	発作性頻拍(心室、上室性)	210	発作性頻拍(心室、上室性)	6
			発作性上室性頻拍	65
			上室性頻拍	43
			多源性心房性頻拍	8
			房室結節性異所性頻拍	2
			発作性心室性頻拍	11
			心室性頻拍	75
19	ロマノ・ワルド(Romano-Ward)症候群	3	ロマノ・ワルド症候群	3
20	QT 延長症候群	384	QT 延長症候群	382
			完全心ブロック	2
21	心筋梗塞	4	心筋梗塞	4
22	総動脈幹遺残症	134	総動脈幹遺残症	134
23	大動脈肺動脈中隔欠損症	17	大動脈肺動脈中隔欠損症	17
24	心筋炎後心肥大	14	心筋炎後の心肥大	14
25	心臓腫瘍(粘液腫、横紋筋腫、脂肪腫、線維腫)	20	心臓腫瘍(粘液腫、横紋筋腫、脂肪腫、線維腫)	20
26	慢性緊縮性心膜炎	0	慢性緊縮性心膜炎	0
27	慢性心筋炎	17	慢性心筋炎	17
28	慢性心内膜炎	0	慢性心内膜炎	0
29	慢性心膜炎	4	慢性心膜炎	4
			収縮性心外膜炎	0
30	アイゼンメンゲル(Eisenmenger)症	11	アイゼンメンゲル症候群	11

	候群			
31	右室低形成症	47	右(心)室低形成症	47
32	右室二腔症	8	右室二腔症	8
33	左室右房交通症	3	左室右房交通症	3
34	左心形成不全(低形成)症候群	379	左心形成不全(低形成)症候群	377
			左室憩室(瘤)	2
35	三心房心	8	三心房心	8
36	心室中隔欠損症	1,714	心室中隔欠損症	1,714
37	心内膜床欠損症(一次口欠損症、 共通房室弁口症)	765	房室中隔欠損症(心内膜床欠損症)	355
			不完全型房室中隔欠損症(不完全型心 内膜床欠損症)	8
			完全型房室中隔欠損症(完全型心内膜 床欠損症)	402
38	心不全を伴う動静脈瘻(体動静脈 瘻)	7	体動静脈瘻	0
			動静脈瘻	7
39	心房中隔欠損症(二次口欠損症、 静脈洞欠損症)	275	心房中隔欠損症	275
40	総肺静脈還流異常症	237	総肺静脈還流異常症	217
			部分的肺静脈還流異常症	20
41	体静脈異常還流症	0	体静脈異常還流症	0
42	単心室症	923	単心室症	923
43	単心房症	53	単心房症	53
44	動脈管開存症	122	動脈管開存症	122
45	ファロー(Fallot)四徴症	1,991	ファロー四徴症	1,991
46	部分的肺静脈還流異常症	5	シミター症候群	5
47	心内膜心筋線維症	2	心内膜心筋線維症	2
48	心内膜線維弾性症	17	心内膜線維弾性症	17
49	特発性拘束型(緊縮型)心筋症	16	特発性拘束型(緊縮型)心筋症	16
50	特発性肥大型心筋症	449	肥大型心筋症	241
			拡張型心筋症	118
			不整脈源性右室心筋症	3
			心筋症(詳細不明)	87
51	ヴァルサルヴァ(Valsalva)洞動脈瘤 又はその破裂	17	ヴァルサルヴァ洞動脈瘤又はその破裂	17

52	エプスタイン(Ebstein)奇形(病)	167	エプスタイン奇形	167
53	完全大血管転位症	796	完全大血管転位症	643
			大血管転位症(詳細不明)	153
54	血管輪症	8	血管輪症	4
			左肺動脈右肺動脈起始	4
55	三尖弁狭窄症	17	三尖弁狭窄症	17
56	三尖弁閉鎖症	439	三尖弁閉鎖症	439
57	三尖弁閉鎖不全症	43	三尖弁閉鎖不全症	43
58	修正大血管転位症	282	修正大血管転位症	282
59	重複大動脈弓症	1	重複大動脈弓症	1
60	僧帽弁狭窄症	67	僧帽弁狭窄症	66
			僧帽弁上狭窄症	1
61	僧帽弁閉鎖症	124	僧帽弁閉鎖症	124
62	僧帽弁閉鎖不全症	337	僧帽弁閉鎖不全症	326
			僧帽弁逸脱症候群(MVP)	11
63	大動脈狭窄症	293	大動脈狭窄症	83
			大動脈弓閉鎖	13
			大動脈弓離断	197
64	大動脈縮窄症	402	大動脈縮窄症	402
65	大動脈弁狭窄症	339	大動脈弁狭窄症	292
			大動脈弁下狭窄症	15
			大動脈弁上狭窄症	32
66	大動脈弁閉鎖症	16	大動脈弁閉鎖症	16
67	大動脈弁閉鎖不全症	125	大動脈弁閉鎖不全症	124
			大動脈弁逸脱	1
68	大動脈瘤	3	大動脈瘤	2
			大動脈憩室	1
69	タウシヒ・ピング(Taussig-Bing)症候群	3	タウシヒ・ピング症候群	3
70	特発性肺動脈拡張症	1	特発性肺動脈拡張症	1
71	肺動脈狭窄症	120	肺動脈狭窄症	114
			肺動脈弁異形成	4

			肺動脈弁上狭窄症	2
72	肺動脈閉鎖症	848	肺動脈閉鎖症	823
			右肺動脈上行大動脈起始	9
			先天性肺動静脈瘻	3
			肺動脈起始異常	7
			肺動脈形成不全	6
73	肺動脈弁狭窄症	150	肺動脈弁狭窄症	148
			肺動脈弁下狭窄症	2
74	肺動脈弁閉鎖症	131	肺動脈弁閉鎖症	131
75	肺動脈弁閉鎖不全症	11	肺動脈弁閉鎖不全症	5
			先天性肺動脈弁欠損症	6
76	右鎖骨下動脈異常起始症	0	右鎖骨下動脈異常起始症	0
77	両大血管右室起始症	1,008	両大血管右室起始症	994
			両大血管左室起始症	14
78	慢性心不全(慢性肺性心を含む。)	110	慢性心不全	88
			慢性肺性心	22
79	右胸心	24	右胸心	24
80	左心症	0	左心症	0
81	小児原発性肺高血圧症	148	小児原発性肺高血圧症	148
82	心臓脱出症	0	心臓脱出症	0
83	先天性心膜欠損症	1	先天性心膜欠損症	1
84	多脾症候群	65	多脾症候群	65
85	無脾症候群	187	無脾症候群	129
			無脾症	58
	不明	0	不明	0
合計				14,547

表 5. 平成 26 年度 内分泌疾患 (Endocrine Diseases)

(合計 25,065 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	3,175
	転入	153
	継続	21,425
	再開	63
	無記入	249
性別	男	11,714
	女	13,350
	無記入	1

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	異所性甲状腺刺激ホルモン(TSH)産生腫瘍	34	異所性甲状腺刺激ホルモン(TSH)産生腫瘍	34
2	異所性ゴナドトロピン産生腫瘍	0	異所性ゴナドトロピン産生腫瘍	0
3	異所性コルチゾール産生腫瘍	0	異所性コルチゾール産生腫瘍	0
4	異所性成長ホルモン(GH)産生腫瘍	0	異所性成長ホルモン(GH)産生腫瘍	0
5	異所性副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)症候群	0	異所性副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)症候群	0
6	異所性プロラクチン(PRL)産生腫瘍	5	高プロラクチン血症	5
			異所性プロラクチン(PRL)産生腫瘍	0
7	下垂体機能低下症	537	下垂体機能低下(不全)症	349
			汎下垂体機能低下症	188
			シモンズ病 1	0
8	下垂体性巨人症	5	下垂体性巨人症	5
			末端肥大症 2	0
9	クッシング(Cushing)病	8	クッシング病	8
10	甲状腺刺激ホルモン(TSH)欠乏(欠損)症	37	甲状腺刺激ホルモン(TSH)欠乏(欠損)症	37
11	抗利尿ホルモン(ADH)分泌異常症(SIADH)	3	抗利尿ホルモン分泌異常症	3
12	ゴナドトロピン欠乏(欠損)症	60	ゴナドトロピン分泌低下(欠乏、欠損)症	60
			低ゴナドトロピン性類宦官症 3	0
			カールマン症候群 4	0

13	シモンズ(Simmonds)病 1			
14	真性思春期早発症	450	真性思春期早発症	70
			中枢性思春期早発症	380
15	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	98	腎性尿崩症	98
16	成長ホルモン(GH)欠乏(欠損)症 5			
17	成長ホルモン分泌不全性低身長症	10,575	成長ホルモン分泌不全性低身長症	10,575
			成長ホルモン分泌低下(欠乏、欠損)症 5	0
18	中枢性思春期遅発症 18			
19	中枢性尿崩症(下垂体性(真性)尿崩症)	275	中枢性尿崩症	241
			下垂体性尿崩症	28
			真性尿崩症	6
20	低ゴナドトロピン性類宦官症 3			
21	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)欠乏(欠損)症	20	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)欠乏(欠損)症	20
22	プロラクチン(PRL)欠乏(欠損)症	1	プロラクチン(PRL)欠乏(欠損)症	1
23	末端肥大症 2			
24	ラロン(Laron)型小人症	2	ラロン(Laron)型小人症	2
25	異所性甲状腺 6			
26	クレチン症	4,589	クレチン症	1,653
			先天性甲状腺機能低下症	2,936
			異所性甲状腺 6	0
			甲状腺形成不全 7	0
27	甲状腺機能亢進症(バセドウ(Basedow)病)	2,831	甲状腺機能亢進症	884
			バセドウ病	1,947
			グレース病	0
28	甲状腺機能低下症	104	甲状腺機能低下症	71
			処置後(放射線照射後、術後)甲状腺機能低下症	33
			粘液水腫 8	0
29	甲状腺形成不全 7	0		
30	甲状腺腺腫	7	甲状腺腺腫	7

31	腺腫様甲状腺腫	10	腺腫様甲状腺腫	10
32	先天性甲状腺ホルモン不応症	9	先天性甲状腺ホルモン不応症	9
33	粘液水腫 8			
34	橋本病 9			
35	慢性甲状腺炎	897	慢性甲状腺炎	420
			橋本病 9	477
36	ヴァーナー・モリソン (Verner-Morrison, WDHA)症候群 10			
37	ガストリン分泌異常	0	ガストリン分泌異常	0
			ヴァーナー・モリソン症候群 10	0
			ゾリンジャー・エリソン症候群 11	0
			血管活性腸管ペプチド(VIP)分泌異常 12	0
38	グルカゴン分泌異常	0	グルカゴン分泌異常	0
39	セロトニン分泌異常(カルチノイド症候群)	0	セロトニン分泌異常(カルチノイド症候群)	0
40	ゾリンジャー・エリソン (Zollinger-Ellison)症候群 11			
41	特発性低血糖症	108	特発性低血糖症	45
			高インスリン血症	62
			インスリノーマ	1
			ロイシン過敏性低血糖症 13	0
42	ロイシン過敏性低血糖症 13			
43	VIP(Vasoactive-Intestinal-Polypeptide)分泌異常 12			
44	カールマン(Kallmann)症候群 4			
45	仮性思春期早発症	6	仮性思春期早発症	6
46	クラインフェルター (Klinefelter) 症候群	13	クラインフェルター症候群	13
47	高エストロゲン症	0	高エストロゲン症	0
48	睾丸機能亢進症	1	睾丸機能亢進症	1
			テストキシコーシス/家族性男性思春期早発症 14	0
			男性化副腎腫瘍 15	0
49	睾丸機能低下症	56	睾丸機能低下症	8

			アンドロゲン不応症	7
			原発性性腺機能低下症(男)	39
			性腺性思春期遅発症(男)	2
			睾丸性女性化症 16	0
			高ゴナドトロピン性類宦官症 17	0
50	睾丸形成不全	6	睾丸形成不全	6
			XY 純粋型性腺形成不全症	0
51	睾丸欠損症	2	睾丸欠損症	2
52	睾丸腫瘍	1	睾丸腫瘍	1
53	睾丸性女性化症 16			
54	高ゴナドトロピン性類宦官症 17			
55	女性仮性半陰陽	1	女性仮性半陰陽	1
56	真性半陰陽	4	真性半陰陽	4
57	性腺性思春期遅発症	40	(特発性)思春期遅発症	40
			中枢性思春期遅発症 18	0
58	性早熟症	1,104	思春期早発症	1,090
			性早熟症	14
59	ターナー(Turner)症候群	1,187	ターナー症候群	1,187
60	多嚢胞性卵巣症候群(スタイン・レーベンタール(Stein-Leventhal)症候群)	4	多嚢胞性卵巣症候群	4
61	男性仮性半陰陽	4	男性仮性半陰陽	4
62	テストキシコーシス(家族性男性思春期早発症、male-limited precocious puberty) 14			
63	ヌーナン(Noonan)症候群	3	ヌーナン症候群	3
64	ブラダー・ウィリ(Prader-Willi)症候群	533	ブラダー・ウィリ症候群	533
65	フレリッヒ症候群(脂肪性器異栄養症)	0	フレリッヒ症候群	0
66	卵巣機能亢進症	0	性腺機能亢進症(女)	0
			女性化副腎腫瘍 19	0
67	卵巣機能低下症	88	卵巣機能低下症	19
			原発性性腺機能低下症(女)	67
			性腺性思春期遅発症(女)	2

68	卵巣形成不全	2	卵巣形成不全	2
69	卵巣腫瘍	2	卵巣腫瘍	2
70	ローレンス・ムーン・ビードル (Laurence-Moon-Biedl)症候群	0	ローレンス・ムーン・ビードル症候群	0
71	XX 男性	0	XX 男性	0
72	XY 女性	6	XY 女性	3
			5 還元酵素欠損症	3
73	ウェルマー(Wermer)症候群 20			
74	シップル(Sipple)症候群 21			
75	シュミット(Schmidt)症候群	0	シュミット症候群	0
76	多発性内分泌腺腫症(MEA、MEN)	2	多発性内分泌腺腫症	1
			ウェルマー症候群 20	0
			シップル症候群 21	1
77	偽性偽性副甲状腺機能低下症	9	偽性偽性副甲状腺機能低下症	9
78	偽性特発性副甲状腺機能低下症 22			
79	偽性副甲状腺機能低下症	119	偽性副甲状腺機能低下症	59
			仮性副甲状腺機能低下症	60
			偽性特発性副甲状腺機能低下症 22	0
80	テタニー(副甲状腺性) 23			
81	特発性副甲状腺機能低下症	144	特発性副甲状腺機能低下症	90
			副甲状腺機能低下症	54
82	副甲状腺機能亢進症	7	副甲状腺機能亢進症	7
			特発性副甲状腺機能亢進症	0
83	副甲状腺機能低下・アジソン・モニリア (hypoparathyroidism-Addison- Monilia)症候群 24			
84	副甲状腺機能低下症	7	副甲状腺機能低下症	7
85	副甲状腺形成不全	3	副甲状腺形成不全	2
			先天性副甲状腺欠損症	1
			テタニー(副甲状腺性) 23	0
			副甲状腺機能低下・アジソン・モニリア症候 群 24	0
86	アジソン(Addison)病	33	アジソン病	30

			早老症	3
87	アルドステロン欠損症	6	アルドステロン欠損症	6
88	クッシング(Cushing)症候群	7	クッシング症候群	7
89	グルココルチコイド奏功性アルドステロン症 25			
90	原発性アルドステロン症(コン(Conn)症候群) 26			
91	高アルドステロン症	2	高アルドステロン症	2
			グルココルチコイド反応性(奏功性)アルドステロン症 25	0
92	コレステロール側鎖切断酵素欠損症(先天性リポイド過形成、ブラダー(Prader)症候群)	151	先天性副腎リポイド過形成	132
			先天性リポイド過形成	10
			コレステロール側鎖切断酵素欠損症	2
			ブラダー症候群	7
93	周期性 ACTH 症候群	36	周期性 ACTH 症候群	36
94	女性化副腎腫瘍 19			
95	先天性副腎皮質過形成	72	先天性副腎皮質過形成	72
96	男性化副腎腫瘍 15			
97	特発性アルドステロン症	2	特発性アルドステロン症	2
			原発性アルドステロン症(コン(Conn)症候群) 26	0
98	副腎形成不全	84	副腎形成不全(低形成)	84
99	副腎性器症候群	0	副腎性器症候群	0
100	副腎腺腫	2	副腎腺腫	2
101	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症	25	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症	25
102	3 水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症(ボンジョバンニ(Bongiovanni)症候群)	2	3 水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症	2
103	11 水酸化酵素欠損症	7	11 水酸化酵素欠損症	7
104	17 水酸化酵素欠損症	2	17 水酸化酵素欠損症	2
105	18 水酸化酵素欠損症	3	18 水酸化酵素欠損症	3
106	18 水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症	0	18 水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症	0
107	21 水酸化酵素欠損症	564	21 水酸化酵素欠損症	564

108	偽性低アルドステロン症	12	偽性低アルドステロン症	12
109	リドル(Liddle)症候群	0	リドル症候群	0
110	先天性全身性脂肪発育障害症候群(リボジストロフィー)	7	先天性全身性リボジストロフィー	7
111	マッキューン・オルブライト(McCune-Albright)症候群	29	マッキューン・オルブライト症候群	29
112	レニン分泌異常	0	レニン分泌異常	0
	不明	0	不明	0
合計				25,065

1. 告示 13「シモンズ病」は、告示 7「下垂体機能低下症」にて集計
2. 告示 23「末端肥大症」は、告示 8「下垂体性巨人症」にて集計
3. 告示 20「低ゴナドトロピン性類宦官症」は、告示 12「ゴナドトロピン欠乏(欠損)症」にて集計
4. 告示 44「カールマン症候群」は、告示 12「ゴナドトロピン欠乏(欠損)症」にて集計
5. 告示 16「成長ホルモン(GH)欠乏(欠損)症」は、告示 17「成長ホルモン分泌不全性低身長症」にて集計
6. 告示 25「異所性甲状腺」は、告示 26「クレチン症」にて集計
7. 告示 29「甲状腺形成不全」は、告示 26「クレチン症」にて集計
8. 告示 33「粘液水腫」は、告示 28「甲状腺機能低下症」にて集計
9. 告示 34「橋本病」は、告示 35「慢性甲状腺炎」にて集計
10. 告示 36「ヴァーナー・モリソン症候群」は、告示 37「ガストリン分泌異常」にて集計
11. 告示 40「ゾリンジャー・エリソン症候群」は、告示 37「ガストリン分泌異常」にて集計
12. 告示 43「血管活性腸管ペプチド(VIP)分泌異常」は、告示 37「ガストリン分泌異常」にて集計
13. 告示 42「ロイシン過敏性低血糖症」は、告示 41「特発性低血糖症」にて集計
14. 告示 62「テストキシコーシス/家族性男性思春期早発症」は、告示 48「睾丸機能亢進症」にて集計
15. 告示 96「男性化副腎腫瘍」は、告示 48「睾丸機能亢進症」にて集計
16. 告示 53「睾丸性女性化症」は、告示 49「睾丸機能低下症」にて集計
17. 告示 54「高ゴナドトロピン性類宦官症」は、告示 49「睾丸機能低下症」にて集計
18. 告示 18「中枢性思春期遅発症」は、告示 57「性腺性思春期遅発症」にて集計
19. 告示 94「女性化副腎腫瘍」は、告示 66「卵巢機能亢進症」にて集計
20. 告示 73「ウェルマー症候群」は、告示 76「多発性内分泌腺腫症(MEA、MEN)」にて集計
21. 告示 74「シップル症候群」は、告示 76「多発性内分泌腺腫症(MEA、MEN)」にて集計
22. 告示 78「偽性特発性副甲状腺機能低下症」は、告示 79「偽性副甲状腺機能低下症」にて集計
23. 告示 80「テタニー(副甲状腺性)」は、告示 85「副甲状腺形成不全」にて集計
24. 告示 83「副甲状腺機能低下・アジソン・モニア症候群」は、告示 85「副甲状腺形成不全」にて集計
25. 告示 89「グルコルチコイド反応性(奏功性)アルドステロン症」は、告示 91「高アルドステロン症」にて集計
26. 告示 90「原発性アルドステロン症(コン(Conn)症候群)」は、告示 97「特発性アルドステロン症」にて集計

表 6. 平成 26 年度 膠原病 (Collagen Diseases)

(合計 2,729 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	415
	転入	15
	継続	2,243
	再開	11
	無記入	45
性別	男	1,179
	女	1,550
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	アレルギー性垂敗血症 (ウイスラー・ファン コニ(Wissler-Fanconi)症候群)			
2	冠動脈病変 (川崎病性冠動脈病 変)(冠動脈瘤、冠動脈拡張症、冠動脈 狭窄症)	773	川崎病性冠動脈病変	220
			冠動脈瘤(川崎病性)	539
			冠動脈拡張症(川崎病性)	11
			冠動脈狭窄症(川崎病性)	3
			川崎病/急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群	0
3	シェーグレン(Sjögren)症候群	116	シェーグレン症候群	116
4	自己免疫性肝炎	50	自己免疫性肝炎	50
5	自己免疫性腸炎	6	自己免疫性腸炎	6
6	若年性関節リウマチ	1,755	若年性特発性関節炎(JIA)	1,752
			若年性関節リウマチ(JRA)	0
			慢性関節リウマチ	3
7	スチーブンス・ジョンソン (Stevens- Johnson)症候群	16	スチーブンス・ジョンソン症候群	16
8	スチル(Still)病	0	スチル病	0
9	リウマチ性心疾患	13	リウマチ性心疾患	13
合計				2,729

告示 1「アレルギー性垂敗血症/ウイスラー・ファンコニ症候群」は、告示 6「若年性関節リウマチ」にて集計

表 7. 平成 26 年度 糖尿病 (Diabetes Mellitus)

(合計 5,324 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	654
	転入	30
	継続	4535
	再開	14
	無記入・他	91
性別	男	2341
	女	2983
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	1 型糖尿病(若年型糖尿病)	4,425	1 型糖尿病(若年型糖尿病)	4,425
2	2 型糖尿病(成人型糖尿病)	783	2 型糖尿病(成人型糖尿病)	783
3	その他の糖尿病(腎性糖尿を除く。)	116	インスリン受容体異常症(インスリン抵抗性糖尿病、妖精病を含む)	8
			MODY1(HNF-4 遺伝子異常による糖尿病)	2
			MODY2(Glucokinase 遺伝子異常による糖尿病)	2
			MODY3(HNF-1 遺伝子異常による糖尿病)	2
			MODY4(IPF-1 遺伝子異常による糖尿病)	0
			MODY5(HNF-1 遺伝子異常による糖尿病)	3
			膵 細胞機能に関わる遺伝子異常による糖尿病	2
			ミトコンドリア遺伝子異常による糖尿病	3
			インスリン遺伝子異常による糖尿病	2
			アミン遺伝子異常による糖尿病	1
			膵摘後糖尿病	6
			二次性糖尿病	2
			若年発症成人型糖尿病 (MODY)	2
新生児糖尿病	2			
他の疾患伴う糖尿病	19			

		糖尿病(詳細不明)	60
合計			5,324

表8. 平成26年度 先天性代謝異常 (Inborn Errors of Metabolism)

(合計 3,755 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	309
	転入	17
	継続	3,369
	再開	13
	無記入	47
性別	男	2,092
	女	1,663
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	イミノ酸異常症	0	イミノ酸異常症	0
2	家族性イミノグリシン尿症	0	家族性イミノグリシン尿症	0
3	高オルニチン血症 - 高アンモニア血症 - ホモシトルリン尿症症候群	4	高オルニチン血症 - 高アンモニア血症 - ホモシ トルリン尿症症候群	4
4	白皮症	36	白皮症	36
5	ヘルマンズキー・ブドラック(Hermansky- Pudlak)症候群	4	ヘルマンズキー・ブドラック症候群	4
6	エーラーズ・ダンロス(Ehlers-Danlos)症 候群	59	エーラーズ・ダンロス症候群	59
7	骨形成不全症 (Osteogenesis imperfecta)	451	骨形成不全症	451
8	軟骨無形成症(軟骨異栄養症)	880	軟骨無形成症	451
			軟骨異栄養症	429
9	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	0	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	0
10	トランスコバラミン 欠損症	0	トランスコバラミン 欠損症	0
11	無アルブミン血症	0	無アルブミン血症	0
12	無トランスフェリン症	0	無トランスフェリン症	0
13	無ハプトグロビン症	0	無ハプトグロビン症	0
14	アポ蛋白 C- 欠損症	2	アポ蛋白 C- 欠損症	2
15	アルファリポ蛋白欠乏症(高比重リポ蛋白	0	アルファリポ蛋白欠乏症(高比重リポ蛋白	0

	(HDL)欠乏症、タンジエール(Tangier)病)		(HDL)欠乏症)	
			レシチン-コレステロール-アシルトランスフェラーゼ欠損症	0
16	ウォールマン(Wolman)病	3	ウォールマン病	1
			コレステロールエステル蓄積症	2
17	家族性高コレステロール血症	146	家族性高コレステロール血症(ホモ接合型)	9
			家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	137
18	家族性高リポ蛋白血症	0	家族性高リポ蛋白血症	0
19	高超低比重リポ蛋白(VLDL)血症	0	高超低比重リポ蛋白血症 / VLDL 血症	0
20	高低比重リポ蛋白(LDL)血症	4	高低比重リポ蛋白血症 / LDL 血症	4
21	高トリグリセライド血症	17	高トリグリセライド血症	17
22	高プレベータリポ蛋白血症	0	高プレベータリポ蛋白血症	0
23	高ベータリポ蛋白血症	0	高ベータリポ蛋白血症	0
24	先天性高脂質血症	0	先天性高脂質血症	0
25	無(低)ベータリポ蛋白血症(バッセン・コーンツヴァイク(Bassen-Kornzweig)症候群、有棘赤血球症)	5	無(低)ベータリポ蛋白血症(バッセン・コーンツヴァイク(Bassen-Kornzweig)症候群、有棘赤血球症)	5
26	レフスム(Refsum)病	0	レフスム病(症候群)	0
27	遺伝性若年性痛風	2	遺伝性若年性痛風	2
28	色素性乾皮症	61	色素性乾皮症	61
29	先天性高尿酸血症	15	レッシュ・ナイハン症候群	15
30	シスチン蓄積症(リグナック(Lignac)症候群)	6	シスチン蓄積症	6
31	シスチン尿症	51	シスチン尿症	51
32	腎性アミノ酸尿症	3	腎性アミノ酸尿症	3
33	ハルトナップ(Hartnup)病	1	ハルトナップ病	1
34	ファンコーニ(Fanconi)症候群	20	ファンコーニ症候群	20
35	ショ糖・イソ麦芽糖吸収不全症	3	ショ糖・イソ麦芽糖吸収不全症	3
36	先天性高乳酸血症	25	先天性高乳酸血症	25
37	乳糖吸収不全症	42	乳糖吸収不全症	42

38	ぶどう糖・ガラクトース吸収不全症	6	グルコース・ガラクトース吸収不全症	6	
39	先天性ポルフィリン症	11	先天性ポルフィリン症	11	
40	遺伝性ビタミン D 抵抗性くる病(家族性低リン酸血症)	159	原発性低リン血症性くる病	50	
			家族性低リン酸血症	32	
			ビタミンD抵抗性くる病	77	
41	ウイルソン(Wilson)病(セルロプラスミン欠乏症)	220	ウイルソン病	220	
42	メンケス(Menkes)病(kinky-(steely)hair症候群)	15	メンケス病(キンキー・ヘア病)	15	
43	グルタル酸尿症(型、型)	28	グルタル酸尿症 型	17	
			グルタル酸尿症 型	11	
44	先天性葉酸吸収不全症	0	先天性葉酸吸収不全症	0	
45	メチルマロン酸血症	66	メチルマロン酸血症	66	
46	遺伝性脈管浮腫	1	遺伝性脈管浮腫	1	
47	先天性魚鱗癬(水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症、非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症、道化師様魚鱗癬、シェーグレン・ラーソン症候群)	60	水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症	12	
			非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症	16	
			道化師様魚鱗癬	7	
			シェーグレン・ラーソン症候群	0	
			先天性魚鱗癬(詳細不明)	25	
48	致死性表皮水疱症(ヘルリッツ(Herlitz)型)	2	ヘルリッツ型表皮水疱症	2	
49	ロウエ(Lowe)症候群(眼脳腎症候群)	26	眼脳腎症候群 (Lowe 症候群)	26	
50	1 から 109 までに掲げるもののほか、特定の欠損(活性異常)酵素名を冠したすべての疾患	1,319			
	アミノ酸代謝異常症		503	高アンモニア血症	28
				高リジン血症	0
				フェニルケトン尿症	185
				高フェニルアラニン血症	12
				高チロジン血症 型	9
				高チロジン血症 型	1

		高チロジン血症 型	2
		高プロリン血症	2
		プロリダーゼ欠損症	0
		メープルシロップ尿症 / 楓糖尿症	16
		ホモシスチン尿症	16
		高グリシン血症(非ケト-シス型)	7
		カルバミルリン酸合成酵素欠損症	14
		オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	69
		シトルリン血症	116
		シトルリン欠損症	6
		アルギニコハク酸尿症	7
		高アルギニン血症	5
		リジン尿性蛋白不耐症	6
		尿素サイクル代謝異常	0
		ヒドロキシキヌレニン尿症	0
		アミノ酸代謝異常症(その他)	2
有機酸代謝異常症	81	プロピオン酸血症	41
		イソ吉草酸血症	4
		-ケトチオラーゼ欠損症	3
		-メチルクロトニルグリシン尿症	0
		3-メチルグルタコン酸尿症	4
		3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル酸尿症	8
		3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル CoA 合成酵素欠損症	3
		複合カルボキシラーゼ欠損症	7
		原発性高シュウ酸尿症	6
		アルカプトン尿症	2
		グリセロールキナーゼ欠損症	3
		有機酸代謝異常症(その他)	0
脂肪酸代謝異常症	58	カルニチン / アシルカルニチン転移素酵素欠損	1

		症	
		カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ欠損症	2
		カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ II 欠損症	17
		極長鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症	15
		中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症	17
		短鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症	0
		長鎖 3-ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素欠損症	1
		脂肪酸 酸化異常症	0
		三頭酵素欠損症	1
		脂肪酸代謝異常症 (その他)	4
脂質代謝異常症	5	高リポ蛋白血症 型	3
		先天性リパーゼ欠損症	0
		脂質代謝異常症 (その他)	2
ミトコンドリア病	33	ビルビン酸脱水素酵素欠損症	30
		ビルビン酸カルボキシラーゼ欠損症	2
		ミトコンドリア呼吸鎖複合体欠損症	1
糖質代謝異常症	202	フルクトース-1,6-ビスホスファターゼ欠損症	5
		グリコーゲン合成酵素欠損症 (糖原病 0 型)	1
		糖原病 型	71
		糖原病 型	7
		糖原病 型	2
		糖原病 型	1
		糖原病 型	6
		糖原病 型	2
		糖原病 型	3
		糖原病 , 型	21
		糖原病 XI 型	3
		肝型糖原病	0

		糖原病(詳細不明)	31
		ガラクトース血症 型 (ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症)	13
		ガラクトース血症 型 (ガラクトキナーゼ欠損症)	11
		ガラクトース血症 型 (ウリジルニリン酸ガラクトース-4-エピメラーゼ欠損症)	7
		グルコーストランスポーター1 (GLUT1) 欠損症	14
		糖質代謝異常症 (その他)	4
ライソゾーム病	298	ムコ多糖症 型(ハーラー-症候群)	7
		ムコ多糖症 型(ハンター-症候群)	93
		ムコ多糖症 型(サンフィリップ病)	12
		ムコ多糖症 型(モルキオ病)	8
		ムコ多糖症 型(マロー・ラミー-症候群)	4
		ムコ多糖症 型(スライ病)	0
		ムコ多糖症(詳細不明)	21
		シアリドーシス	0
		GM1-ガングリオシドーシス	4
		GM2-ガングリオシドーシス(テイサックス病)	12
		異染性白質ジストロフィー	10
		ニーマン・ピック病	4
		ゴーシェ病	26
		ファブリー病	43
		クラッペ病	8
		ファーバー病	3
		ムコリビドーシス 型(I-セル病)	12
		ムコリビドーシス 型	3
		ムコリビドーシス(詳細不明)	0
		ポンペ病(糖原病 型)	21
		酸性リパーゼ欠損症	0

		神経セロイドリポフスチン症	3
		マルチプルスルファターゼ欠損症	1
		-ガラクトシダーゼ-ノイラミダーゼ欠損症	2
		スフィンゴリピドーシス	1
ペルオキシソーム病	67	ペルオキシソーム形成異常症	0
		副腎白質ジストロフィー	67
ビタミン代謝異常症	16	ホルムイミノトランスフェラーゼ欠損症	0
		ビタミンD依存性くる病	14
		ビタミン代謝異常症（その他）	2
プリンピリミジン代謝異常症	8	アデニンホスホリボシルトランスフェラーゼ欠損症	6
		キサントシン尿症	1
		ヒポキサントシグアニンホスホリボシルトランスフェラーゼ欠損症（レッシュ・ナイハン症候群）	0
		尿酸トランスポーター異常症	1
ビリルビン代謝異常症	0	クリグラー・ナジャー症候群	0
神経伝達物質異常症	11	ビオプテリン代謝異常症（ビオプテリン欠乏症）	11
その他	37	Alexander 病	11
		Crigler-Najjar 症候群	0
		Pelizaeus-Merzbacher 病	26
不明	2	不明	2
合計			3,755

表 9. 平成 26 年度 血友病等血液・免疫疾患

(Blood Diseases and Immunodeficiencies Including Haemophiliae)

(合計 3,242 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	382
	転入	22
	継続	2,788
	再開	6
	無記入	44
性別	男	2,399
	女	843
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	悪性貧血	1	悪性貧血	1
2	イマースlund・グレスベック症候群	0	イマースlund・グレスベック症候群	0
3	巨赤芽球性貧血	7	巨赤芽球性貧血	7
4	葉酸欠乏性貧血	1	葉酸欠乏性貧血	1
5	アンチトロンピン 欠乏症	14	アンチトロンピン 欠乏症	14
6	高分子キニノゲン欠乏症	0	高分子キニノゲン欠乏症	0
7	先天性血液凝固異常症	1	先天性血液凝固異常症	1
8	第 因子(フィブリノゲン)欠乏症	8	第 因子(フィブリノゲン)欠乏症	8
9	第 因子(プロトロンピン)欠乏症	4	第 因子(プロトロンピン)欠乏症	4
10	第 因子(不安定因子)欠乏症	8	第 因子(不安定因子)欠乏症	8
11	第 因子(安定因子)欠乏症	16	第 因子(安定因子)欠乏症	16
12	第 因子欠乏症(血友病 A)	1,123	第 因子欠乏症(血友病 A)	1,123
13	第 因子欠乏症(血友病 B)	247	第 因子欠乏症(血友病 B)	247
14	第 因子(スチュアート・プラウアー (Stuart-Prower)因子)欠乏症	2	第 因子(スチュアート・プラウアー因子)欠乏症	2
15	第 XI 因子欠乏症	7	第 XI 因子欠乏症	7
16	第 X 因子(ヘイグマン(Hageman)因子)欠乏症	1	第 X 因子(ヘイグマン因子)欠乏症	1

17	第 X 因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	10	第 X 因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	10
18	フォン・ヴィレブランド(von Willebrand)病	235	フォン・ヴィレブランド病	235
19	プレカリクレイン欠乏症	0	プレカリクレイン欠乏症	0
20	C 蛋白(protein C)欠乏症	15	C 蛋白(protein C)欠乏症	15
21	S 蛋白(protein S)欠乏症	4	S 蛋白(protein S)欠乏症	4
22	巨大血管腫(カサバツハ・メリット(Kasabach-Merritt)症候群)	56	巨大血管腫	11
			カサバツハ・メリット症候群	45
23	血小板機能異常症(血小板異常症)	36	血小板機能異常症(血小板異常症)	8
			ベルナル・スリエ症候群 1	2
			血小板無力症 2	26
			血小板無力症症候群 3	0
24	血小板血症	8	血小板血症	8
25	血小板無力症 2			
26	血小板無力症症候群 3			
27	血栓性血小板減少性紫斑病	28	血栓性血小板減少性紫斑病	28
28	周期性血小板減少症	2	周期性血小板減少症	2
29	先天性無巨核球性血小板減少症(トロンボエチン欠損症)	5	先天性無巨核球性血小板減少症	5
30	貯蔵欠如症(strage pool 病)	0	貯蔵欠如症(strage pool 病)	0
31	脾機能亢進性血小板減少症	6	脾機能亢進性血小板減少症	5
			バンチ症候群	1
32	脾形成不全性血小板増加症	0	脾形成不全性血小板増加症	0
33	ベルナル・スリエ(Bernard-Soulier)症候群 1			
34	放出機構異常症('Aspirin-like' defect)	0	放出機構異常症	0
35	本態性アトロンピア(トロンピン欠乏症)	0	本態性アトロンピア(トロンピン欠乏症)	0
36	免疫学的血小板減少症	463	特発性血小板減少性紫斑病	300

			血小板減少性紫斑病	79
			免疫学的血小板減少症	84
37	寒冷凝集素症 4			
38	自己免疫性溶血性貧血	44	自己免疫性溶血性貧血 4,5	44
39	新生児溶血性貧血(胎児赤芽球症)	0	新生児溶血性貧血	0
40	脾機能亢進性溶血性貧血	0	脾機能亢進性溶血性貧血	0
41	微小血管障害性溶血性貧血	4	微小血管障害性溶血性貧血	4
42	発作性寒冷血色素尿症	0	発作性寒冷血色素(ヘモグロビン)尿症	0
43	発作性夜間血色素尿症	2	発作性夜間血色素(ヘモグロビン)尿症	2
44	慢性寒冷赤血球凝集素症 5			
45	アデニレートキナーゼ欠乏性貧血	0	アデニレートキナーゼ欠乏性貧血	0
46	アルドラーゼ欠乏性貧血	0	アルドラーゼ欠乏性貧血	0
47	異常ヘモグロビン(血色素)症	60	異常ヘモグロビン(血色素)症	1
			カルボキシヘモグロビン血症 6	0
			スルフヘモグロビン血症 7	0
			先天性ハイツ小体性貧血 8	0
			不安定ヘモグロビン症 10	2
			ヘモグロビン C 症 11	0
			ヘモグロビン D 症 12	0
			ヘモグロビン E 症 13	0
			先天性赤芽球癆(ダイヤモンド・ブラックファン貧血)	57
48	遺伝性球状赤血球症	117	遺伝性球状赤血球症	117
49	遺伝性高ヘモグロビン F 症	0	遺伝性高ヘモグロビン F 症	0
50	遺伝性楕円赤血球症	4	遺伝性楕円赤血球症	4
51	遺伝性有口(口唇状)赤血球症	0	遺伝性有口(口唇状)赤血球症	0
52	遺伝性溶血性非球状赤血球性貧血	4	遺伝性溶血性非球状赤血球性貧血	4
53	遺伝性(先天性)溶血性貧血	4	遺伝性(先天性)溶血性貧血	4
			赤血球酵素異常症	0
54	家族性赤血球増加症	0	家族性赤血球増加症	0

55	鎌状赤血球貧血	2	鎌状赤血球貧血	2
56	カルボキシヘモグロビン血症 6			
57	ガンマグルタミルシステイン合成酵素欠乏性貧血	0	ガンマグルタミルシステイン合成酵素欠乏性貧血	0
58	グルコースリン酸イソメラーゼ欠乏性貧血	1	グルコースリン酸イソメラーゼ欠乏性貧血	1
59	グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G-6-PD)欠乏性貧血	10	グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G-6-PD)欠乏性貧血	10
60	グルタチオン過酸化酵素欠乏性貧血	0	グルタチオン過酸化酵素欠乏性貧血	0
61	グルタチオン還元酵素欠乏性貧血	0	グルタチオン還元酵素欠乏性貧血	0
62	グルタチオン合成酵素欠乏性貧血	0	グルタチオン合成酵素欠乏性貧血	0
63	サラセミア(地中海貧血)	4	サラセミア	2
			サラセミア	0
			サラセミア	2
64	サラセミア様症候群	0	サラセミア様症候群	0
65	スルフヘモグロビン血症 7			
66	赤血球アデノシンデアミナーゼ異常症	0	赤血球アデノシンデアミナーゼ異常症	0
67	先天性ハイツ小体性貧血 8			
68	先天性メトヘモグロビン血症	2	ヘモグロビン M 症	0
			先天性メトヘモグロビン血症	2
			先天性 NADH・メトヘモグロビン還元酵素欠乏症 9	0
69	先天性 NADH・メトヘモグロビン還元酵素欠乏症 9			
70	ピリミジン 5' -ヌクレオチダーゼ欠乏性貧血	0	ピリミジン 5' -ヌクレオチダーゼ欠乏性貧血	0
71	ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血	2	ビルビン酸キナーゼ欠乏性貧血	1
			ビルビン酸キナーゼ欠損症	1
72	不安定ヘモグロビン症 10			
73	ヘキソキナーゼ欠乏性貧血	0	ヘキソキナーゼ欠乏性貧血	0
74	ヘモグロビン C 症 11			
75	ヘモグロビン D 症 12			

76	ヘモグロビン E 症 13			
77	ヘモグロビン S 症	0	ヘモグロビン S 症	0
78	ホスホグリセリン酸キナーゼ欠乏性貧血	2	ホスホグリセリン酸キナーゼ欠乏性貧血	2
79	ホスホフルクトキナーゼ欠乏性貧血	0	ホスホフルクトキナーゼ欠乏性貧血	0
80	燐酸三炭糖イソメラーゼ欠乏性貧血	0	燐酸三炭糖イソメラーゼ欠乏性貧血	0
81	2, 4-ジホスホグリセル酸ムターゼ欠乏性貧血	0	2, 4-ジホスホグリセル酸ムターゼ欠乏性貧血	0
82	エリスロポエチン分泌異常	0	エリスロポエチン分泌異常	0
83	原発性鉄芽球性貧血	0	原発性鉄芽球性貧血	0
			鉄芽球性貧血	0
			ビタミン B6 反応性 (ピリドキシン欠乏性) 貧血 14	0
			ピリドキシン反応性貧血 15	0
84	ビタミン B6 反応性 (ピリドキシン欠乏性) 貧血 14			
85	ピリドキシン反応性貧血 15			
86	アルダー (Alder) 異常 (症候群)	0	アルダー異常 (症候群)	0
87	遺伝性好中球減少症 (家族性慢性好中球減少症)	81	遺伝性好中球減少症	33
			家族性慢性好中球減少症	1
			コストマン病	3
			慢性再生不良性好中球減少症 (シュバート・ダマシエク症候群) 16	4
			慢性本態性好中球減少症 17	33
			無顆粒球症	7
88	好酸球増加症	22	好酸球増加症	22
89	周期性好中球減少症	7	周期性好中球減少症	7
90	怠惰白血球症候群	29	怠惰白血球症候群 (白血球機能異常症)	1
			高 IgE 症候群	25
			白血球接着不全症	1
			慢性皮膚粘膜カンジダ症候群	2
91	不能白血球症	0	不能白血球症	0

			原発性補体異常症	0
92	ベルゲル・フェット (Pelger-Huet)異常(症候群)	0	ベルゲル・フェット異常(症候群)	0
93	慢性再生不良性好中球減少症(シュ バート・ダマシエク(Spat-Damashek)症 候群) 16			
94	慢性本態性好中球減少症 17	7	自己免疫性好中球減少症	7
			慢性の経過をたどる好中球減少症(その他)	0
95	ミエロペルオキシダーゼ欠損症	0	ミエロペルオキシダーゼ欠損症	0
96	メイ・ヘグリン(May-Hegglin)異常(症 候群)	2	メイ・ヘグリン異常(症候群)	2
97	異ガンマグロブリン血症	0	異ガンマグロブリン血症	0
98	ウィスコット・アルドリッチ(Wiskott- Aldrich)症候群	32	ウィスコット・アルドリッチ症候群	32
99	胸腺形成不全	0	胸腺形成不全	0
100	グッド(Good)症候群	0	グッド症候群	0
101	高グロブリン血症性紫斑病	0	高グロブリン血症性紫斑病	0
102	後天性免疫不全症候群 (AIDS、HIV感染症)	12	HIV感染症	12
103	シェディアク・東(Chediak-Higashi)異 常(症候群)	2	シェディアク・東(異常)症候群	2
104	重症複合免疫不全症(リンパ球減少性 無ガンマグロブリン血症)	53	重症複合免疫不全症	47
			複合型免疫不全症	4
			スイス型無ガンマグロブリン血症 18	0
			アデノシンデアミナーゼ欠損症	1
			X連鎖リンパ増殖症候群	1
105	スイス型無ガンマグロブリン血症 18			
106	選択的免疫グロブリン欠損症 19			
107	先天性細胞性免疫不全症	11	先天性細胞性免疫不全症	7
			細胞性免疫不全(症)	4
108	低ガンマグロブリン血症	130	低ガンマグロブリン血症	27
			乳児一過性低ガンマグロブリン血症	2

			無ガンマグロブリン血症	63
			先天性無ガンマグロブリン血症	2
			ブルトン型無ガンマグロブリン血症 20	36
109	ディジョージ(DiGeorge)症候群	8	ディジョージ症候群	8
110	特定抗体産生不全症 21			
111	ネゼロフ(Nezelof)症候群 22			
112	バリアブル・イムノデフィシエンシー (variable immunodeficiency)	41	バリアブル・イムノデフィシエンシー(CVIDを含む)	39
			続発性免疫不全症候群	2
113	複合型免疫不全症	11	高IgM症候群	11
			ネゼロフ症候群 22	0
114	ブルトン(Bruton)型無ガンマグロブリン血症 20			
115	本態性高ガンマグロブリン血症	0	本態性高ガンマグロブリン血症	0
116	末梢(毛細)血管拡張性運動失調症(ルイ・バー(Louis-Bar)症候群)	13	毛細血管拡張性運動失調症	12
			ルイ・バー症候群	1
117	慢性活動性EBウイルス感染症	49	慢性活動性EBウイルス感染症	49
118	慢性肉芽腫症	59	慢性肉芽腫症	59
119	慢性GVHD(Graft Versus Host disease、移植片対宿主病)	42	慢性GVHD(移植片対宿主病)	42
120	無ガンマグロブリン血症	21	免疫グロブリン欠損症	9
			選択的免疫グロブリン欠損症 19	5
			特定抗体産生不全症 21	1
			IgG 単独欠損症	5
			液性免疫不全を主とする疾患(その他)	1
121	良性単クローン性免疫グロブリン異常症(良性(本態性)M 蛋白血症)	0	良性単クローン性免疫グロブリン異常症(良性(本態性)M 蛋白血症)	0
122	IgA 欠損症	2	IgA 欠損症	2
123	IgM 欠損症	0	IgM 欠損症	0
124	遺伝性出血性末梢血管拡張症(ランデュ・オスラー・ウェーバー(Rendu-Osler-Weber)症候群)	9	遺伝性出血性末梢血管拡張症(オスラー病)	9

125	骨髄線維症(骨髄硬化症、本態性骨髄様化生)	1	骨髄線維症	1
			骨髄硬化症	0
126	真性多血症	1	真性多血症	1
127	赤芽球癆	20	赤芽球癆	20
128	先天性赤血球産生異常性貧血	5	先天性赤血球産生異常性貧血	5
	不明	2	不明	2
合計				3,242

1. 告示 33「ベルナル・スリエ症候群」は、告示 23「血小板機能異常症(血小板異常症)」にて集計
2. 告示 25「血小板無力症」は、告示 23「血小板機能異常症(血小板異常症)」にて集計
3. 告示 26「血小板無力症症候群」は、告示 23「血小板機能異常症(血小板異常症)」にて集計
4. 告示 37「寒冷凝集素症」は、告示 38「自己免疫性溶血性貧血」にて集計
5. 告示 44「慢性寒冷赤血球凝集素症」は、告示 38「自己免疫性溶血性貧血」にて集計
6. 告示 56「カルボキシヘモグロビン血症」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
7. 告示 65「スルフヘモグロビン血症」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
8. 告示 67「先天性ハインツ小体性貧血」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
9. 告示 69「先天性 NADH・メトヘモグロビン還元酵素欠乏症」は、告示 68「先天性メトヘモグロビン血症」にて集計
10. 告示 72「不安定ヘモグロビン症」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
11. 告示 74「ヘモグロビン C 症」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
12. 告示 75「ヘモグロビン D 症」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
13. 告示 76「ヘモグロビン E 症」は、告示 47「異常ヘモグロビン(血色素)症」にて集計
14. 告示 84「ビタミン B6 反応性(ピリドキシン欠乏性)貧血」は、告示 83「原発性鉄芽球性貧血」にて集計
15. 告示 85「ピリドキシン反応性貧血」は、告示 83「原発性鉄芽球性貧血」にて集計
16. 告示 93「慢性再生不良性好中球減少症(シュベート・ダマシク(Spat-Damashek)症候群)」は、告示 87「遺伝性好中球減少症(家族性慢性好中球減少症)」にて集計
17. 告示 94「慢性本態性好中球減少症」は、告示 87「遺伝性好中球減少症(家族性慢性好中球減少症)」にて集計
18. 告示 105「スイス型無ガンマグロブリン血症」は、告示 104「重症複合免疫不全症(リンパ球減少性無ガンマグロブリン血症)」にて集計
19. 告示 106「選択的免疫グロブリン欠損症」は、告示 120「無ガンマグロブリン血症」にて集計
20. 告示 114「ブルトン型無ガンマグロブリン血症」は、告示 108「低ガンマグロブリン血症」にて集計
21. 告示 110「特定抗体産生不全症」は、告示 120「無ガンマグロブリン血症」にて集計
22. 告示 111「ネゼロフ(Nezelof)症候群」は、告示 113「複合型免疫不全症」にて集計

表 10. 平成 26 年度 神経・筋疾患 (Neuromuscular Diseases)

(合計 4,562 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	456
	転入	32
	継続	3,976
	再開	19
	無記入	79
性別	男	2,448
	女	2,114
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	ウェスト(West)症候群(点頭てんかん)	2,551	ウェスト(West)症候群(点頭てんかん)	2,551
2	結節性硬化症	431	結節性硬化症	431
3	重症乳児ミオクロニーてんかん	245	重症乳児ミオクロニーてんかん	245
4	小児亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	14	小児亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	14
5	先天性ミオパチー	124	先天性ミオパチー	110
			筋細管性ミオパチー	0
			先天性筋線維型不均等症	2
			ネマリンミオパチー	10
			セントラルコア病	2
6	福山型先天性筋ジストロフィー(先天性遺伝性筋ジストロフィー)	259	福山型先天性筋ジストロフィー(先天性遺伝性筋ジストロフィー)	259
7	ミトコンドリア脳筋症(ミトコンドリア・ミオパチー)	193	ミトコンドリア脳筋症(ミトコンドリア・ミオパチー)	193
8	ミニコア病	0	ミニコア病	0
9	無痛無汗症	49	無痛無汗症	49
10	リー(Leigh)脳症	73	リー(Leigh)脳症	73
11	レット(Rett)症候群	139	レット(Rett)症候群	139
12	レノックス・ガストウ(Lennox-Gastaut)症候群	484	レノックス・ガストウ(Lennox-Gastaut)症候群	484
合計				4,562

表 11. 平成 26 年度 慢性消化器疾患 (Digestive Diseases)

(合計 2,410 人)

	内訳	人数
登録状況	新規診断	193
	転入	12
	継続	2,172
	再開	10
	無記入	23
性別	男	918
	女	1,492
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
1	アラジール(Alagille)症候群(動脈肝異形成 arterio hepatic dysplasia)	73	アラジール(Alagille)症候群(動脈肝異形成 arterio hepatic dysplasia)	73
2	肝硬変	43	肝硬変	43
3	肝内胆管異形成症候群	4	肝内胆管異形成症候群	4
4	肝内胆管拡張症	7	肝内胆管拡張症	7
5	肝内胆管低形成(形成不全)症	8	肝内胆管低形成(形成不全)症	8
6	肝内胆管閉鎖症	2	肝内胆管閉鎖症	2
7	原発性硬化性胆管炎	30	原発性硬化性胆管炎	30
8	ジルベール(Gilbert)症候群	0	ジルベール(Gilbert)症候群	0
9	進行性家族性胆汁うっ滞性肝硬変	28	進行性家族性胆汁うっ滞性肝硬変	28
10	先天性肝線維症	23	先天性肝線維症	23
11	先天性胆道拡張症(先天性総胆管拡張症)	319	先天性胆道拡張症	265
			先天性総胆管拡張症	22
			先天性胆管拡張症	32
12	胆道閉鎖症(先天性胆道閉鎖症)	1,806	胆道閉鎖症(先天性胆道閉鎖症)	1,806
13	デュビン・ジョンソン(Dubin-Johnson)症候群	0	デュビン・ジョンソン(Dubin-Johnson)症候群	0
14	門脈圧亢進症	46	門脈圧亢進症	46
15	ローター(Rotor)症候群(ローター(Rotor)型過ビリルビン血症)	0	ローター(Rotor)症候群(ローター(Rotor)型過ビリルビン血症)	0
16	先天性微絨毛萎縮症	5	先天性微絨毛萎縮症	5
17	腸リンパ管拡張症	16	腸リンパ管拡張症	16
合計				2,410

表 12-1. 平成 25 年度 成長ホルモン (初回申請症例)

(合計 1,623 人)

内訳		人数
性別	男	922
	女	701
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
	成長ホルモン分泌不全性低身長	1,337	成長ホルモン分泌不全性低身長症(脳腫瘍等器質的な原因によるものを含む。)	1,337
	成長ホルモン(GH)欠乏(欠損)症	0		0
	下垂体機能低下症	27	下垂体機能低下(不全)症	17
			汎下垂体機能低下症	10
	ターナー症候群	122	ターナー症候群	122
	ブラダー・ウィリー症候群	46	ブラダー・ウィリー症候群	46
	軟骨無形成症	71	軟骨無形成症	71
	慢性腎不全	19	慢性腎不全	13
			ネフローゼ症候群	1
			巣状糸球体硬化症	0
			腎結石(症)	0
			水腎症	0
			家族性若年性ネフロン癆	0
			萎縮腎	0
			腎の無発生、低形成、無形成又は異形成	2
			腎静脈血栓(症)	1
			多発性嚢胞腎	2
			多嚢胞性異形成腎	0
	慢性膜性増殖性糸球体腎炎	0		
	不明	1	不明	1
合計				1,623

表 12-2. 平成 26 年度 成長ホルモン（継続申請症例）

（合計 10,851 人）

内訳		人数
性別	男	6,586
	女	4,265
	無記入	0

告示 No	告示疾患名	人数	登録病名	人数
	成長ホルモン分泌不全性低身長	9,038	成長ホルモン分泌不全性低身長症(脳腫瘍等器質的な原因によるものを含む。)	9,038
	成長ホルモン(GH)欠乏(欠損)症	0	成長ホルモン分泌低下(欠乏、欠損)症	0
	下垂体機能低下症	192	下垂体機能低下(不全)症	140
			汎下垂体機能低下症	52
	ターナー症候群	705	ターナー症候群	705
	プラダー・ウィリー症候群	390	プラダー・ウィリー症候群	390
	軟骨無形成症	452	軟骨無形成症	452
	慢性腎不全	69	慢性腎不全	34
			IgA 腎症	1
			ネフローゼ症候群	6
			巣状糸球体硬化症	6
			水腎症	1
			メサングウム増殖性腎炎	1
			慢性膜性増殖性糸球体腎炎	1
			腎尿細管性アシドーシス	1
			家族性若年性ネフロン癆	1
			腎の無発生、低形成、無形成又は異形成	12
			尿路の奇形、位置異常又は腫瘍による腎機能障害	2
			腎の奇形による腎機能障害	1
			遺伝性腎炎	1
	急速進行性糸球体腎炎	1		
	不明	5	不明	5
合計				10,851